

小学生が創る宮川未来の森③

～植樹モニタリング～

大台町立宮川小学校



ねらい

- ・ 林業が経済活動の側面以外に環境保全に果たす役割があることを学ぶ。
- ・ 大台町の主幹産業である林業で働く人から直接学ぶことを通じて職業観を養う。

子どもたちは、4年生の時に林業体験、5年生の時に植樹体験をしています。今回、6年生の体験では、5年生の時に植えた木を計測し、昨年の計測結果と比較して、木の種類によって生長の仕方が違うことを学びました。また、森林組合の職員から、個々の木の特性と森林の成り立ちについてのお話を聞きました。

また、過去に植樹された木の成長記録との比較も行い、植樹した場所が10年、20年後にどう移り変わるかを考え、さらに理解が深まって植物への関心が高まったようでした。

子どもたちは、4年生では産業としての林業や人工林について体験を通じた学習を行い、5、6年生では、森林の多面的な役割を学び、森を育てるということを学習しました。切っても切れ

ない人と自然とのつながりを感じるとともに、身近な森、故郷の自然に関心を持つ良い機会になっています。

プログラム概要

内容	5年生の時に植樹をした木のモニタリング
時間	1時間35分
場所	小学校プール脇の法面 小学校裏山
対象	宮川小学校 6年生19人
講師	・ 森のせんせい： 特定非営利活動法人大杉谷自然学校 ・ 宮川森林組合
備考	大台町小学生が創る宮川未来の森（植樹体験）事業